

「新聞社企画・マーケティング部門」

新聞広告賞

風化させてはいけない震災がある【あの日のテレビ欄+47体の身元不明遺体】

岩手日報社 広告事業局

2011年(平成23年)3月11日(金曜日) 第(26)期

県内13市の天気予報

久慈 晴 6-9  
二戸 晴 4-4  
盛岡 晴 2-6  
花巻 晴 4-3  
遠野 晴 4-4  
奥州 晴 6-2  
一関 晴 7-2  
釜石 晴 6-2  
大船渡 晴 6-1

2:46

これは2011年3月11日の岩手日報テレビ欄。午後2時46分までは、普段どおりの日常でした。だから今日3月11日、大切な人と話してください。

11年前のあの日、わたしたちが知ったのは  
人は今日、何が起るかわかることはできない  
ということ。

明日はきっとやってくるけれど、明日が来るのが当たり前ではないと知った3月11日に、どうか、大切な人と言葉をかわしてください。

震災も、後悔も、風化させない。

岩手日報

3月11日は「東日本大震災津波を語り継ぐ日」。

検索

最後だとわかっていたら

岩手日報

東日本震災遺体身元不明者 47体

岩手日報社 博報堂

震災から11年、まだ家族の元へ帰れない遺体がある。

岩手日報

東日本震災遺体身元不明者 47体

岩手日報社 博報堂

震災から11年、まだ家族の元へ帰れない遺体がある。

岩手日報

東日本震災遺体身元不明者 47体

岩手日報社 博報堂

- 広告主 —— 盛岡商工会議所、三陸鉄道など 205 社
- 掲載状況 —— 2022年3月11日 / 本紙全60段、別刷り全15段、カラ
- 広告活動 —— テレビCM、インターネット、SNS
- 企画 —— 岩手日報社、博報堂
- 制作 —— 博報堂、博報堂プロダクツ、横尾美彩

● 企画の概要と選定理由

東日本大震災から11年が経過し、被災地でさえも風化が止まらない中、当時の記憶を呼び起こす広告企画を展開した。誰もが続くだろうと信じていた日常が、一瞬にして失われた事実を思い返してもらうため、3月11日付の別刷り特集に震災当日のテレビ欄を再掲載した。本紙特集では、岩手県警が身元不明の遺体の似顔絵や遺品を今でも公開していることを紹介し、情報提供を呼び掛けた。テレビCMや特設サイト、SNSと連携して拡散を図った結果、県警サイトへのアクセス数が広告掲載前の10倍に達し、問い合わせも増加した。新聞社の総合力を發揮し、県内企業・団体から多くの賛同を得て震災の風化防止に取り組んだ広告活動として高く評価された。

新聞広告賞

虐待ゼロへ いのちにハグを。 とちぎ

下野新聞社 営業局

子どもはひとりの人として、愛されるために生まれた。  
だから、考えよう。動こう。急ごう。

虐待ゼロへ  
いのちに  
ハグ"を。  
とちぎ

2020年に全国の児童相談所が虐待(\*1)として対応した件数が20万件を超え過去最多(\*2)となりました。栃木県においても2020年度、県内の児童相談所と市町の児童虐待の相談対応件数は、3,334件(\*3)にのぼります。最多を更新した前年度からは176件減りましたが、コロナ禍で虐待は潜在化していることが懸念されます。下野新聞は、子どもたちが無条件で人と地域に愛される栃木県を目指し、賛同企業・団体のご協力のもと、新聞紙面を通じた呼びかけ、啓発イベントの実施など児童虐待ゼロに向けた活動を推進していきます。 \*1 児童虐待は、身体的・性的・心理的虐待、ネグレクト(養育放棄・養育怠慢)の4つに分類されます \*2 厚生労働省調べ \*3 県保健福祉部2021年7月発表

虐待ゼロとちぎへ。きょうから、いっしょに。

企画・制作 / 下野新聞社 営業局

虐待ゼロへ  
いのちに  
ハグ"を。  
とちぎ

オレンジリボン=子育て応援のシンボル

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社 | 栃木トヨペット | フタバ食品株式会社  
栃木県トラック協会 | NTT東日本 栃木支店

虐待ゼロへ  
いのちに  
ハグ"を。  
とちぎ

子ども食堂に関する質問に  
対話型AIチャットボットが  
365日・24時間応答

ドコモのチャットボットで  
問い合わせ対応を効率化しませんか?

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社 | 栃木トヨペット | フタバ食品株式会社  
栃木県トラック協会 | NTT東日本 栃木支店

虐待ゼロへ  
いのちに  
ハグ"を。  
とちぎ

バーチャル空間で開催された  
子育てミーティング

子育てビデオ配信

2階は舞台のあるイベント会場

お好きなお部屋で  
楽しくおしゃべり

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社 | 栃木トヨペット | フタバ食品株式会社  
栃木県トラック協会 | NTT東日本 栃木支店

- 広告主 —— 栃木県内の企業・団体・学校など 68 社
- 掲載状況 —— 2021年11月2日、12月6日、2022年1月10日、2月18日、3月20日、3月30日、5月27日から31日 / 二連版全30段、全15段、全5段、カラー
- 広告活動 —— インターネット、イベント、啓発グッズ
- 企画 —— 下野新聞社営業局
- 制作 —— 下野新聞社営業局、コトリス、fabrica tres

● 企画の概要と選定理由  
2020年に全国の児童相談所が対応した虐待の相談件数が過去最多となり、栃木県でも増加傾向にある中、虐待防止に向けた啓発キャンペーンを開始した。企画紙面で子育てに伴う親の孤独や養育をめぐる問題を取り上げ、親子で参加するイベントの開催など触れ合いの場を創出した。メタバース上で子育ての悩みを気軽に話し合える交流会を開催するなど、最新技術を生かした取り組みを展開したほか、子育て世代への思いやりの意思表示を示すオリジナルキーホルダーを製作・販売し、地域社会で支援する機運を高めた。深刻化する社会問題に対し、新聞社が起点となり、重層的な取り組みで応えた広告活動として高く評価された。

新聞広告賞

50000号記念 過去との邂逅×未来への閃光

信濃毎日新聞社 広告局

**祝 紙齢50,000号**  
安心・安全のガス生活、自然と友達  
上田ガス株式会社  
〒386-0025 上田市天町2丁目29-3  
0268-22-0454 <http://www.uedagas.co.jp>

**いざっ、祝の陣**  
アリオ上田、街とつながる十周年。  
Ario

**参加選王**  
ラッセ 金栗氏から優勝

**信濃毎日新聞**  
5月1日 令和元年

**過去の邂逅 × 未来への閃光**  
スマホでよみがえるあの日の紙面

文字のみの紙面からイラスト・写真の登場、モノクロからカラー化、そしてデジタル化へ—  
近代以降、社会の急速な発展に伴って、新聞は進化してきました。  
時代ごとに違った顔を見せる新聞紙面は、その時々の中の色濃く映し出しているように見えてきます。

創業、社名変更、新商品の発売、地域との交流—  
信州で歴史を重ねてきた企業や団体の「あの日」が、過去の信濃毎日新聞紙面を通じてよみがえります。  
知らなかった過去と出会い、未来を「想像／創造」してみませんか？

50000号記念 邂逅・閃光

本日の紙面でこちらのロゴが入った広告

QRコードにスマートフォンをかざすと

信濃毎日新聞の過去紙面がスマートフォンの画面に現れます

今回の特別コンテンツのすべてをご覧いただける特設サイトはこちら

スマートフォンから <https://ad.shinmai.co.jp/50000>

パソコンから <https://ad.shinmai.co.jp/50000>

**信濃毎日新聞**  
歴史と格調誇る新聞に

**JA松本ハイランド**  
わたしたちは、食と農を育み、笑顔があふれる地域をみんなで実現します  
JA松本ハイランド  
〒390-8555 松本市南松本1丁目2番16号  
TEL.0268-26-1400 <https://www.ja-mjain.jp>

**エムケー精工株式会社**  
今までにない、いざどり豊かなシーンを広げる。  
エムケー精工株式会社  
〒390-0825 長野県千曲市南宮 1825 番地  
【信濃町工場】長野県上田市南宮町吉野1618番地  
<https://www.mk.co.jp/>

**相馬商事株式会社**  
本社／長野県佐久市野沢1番地  
<https://www.somashoji.co.jp>  
●石油製品 ●土木建設資材 ●農業・農薬資材 ●ドローン教育・販売 ●ドラッグストア  
●フィットネスクラブ ●デイサービス ●損害保険・生命保険  
<グループ会社> (株)イロノマ (株)北信コヤマタイヤ・樹脂オート (株) (株)アグリマ

**Shin-Etsu Group**  
The possible will be forever  
長野電子工業株式会社  
〒381-8555 千曲市星代1390 TEL.0268-261-3100 FAX.0268-261-3131

八十二銀行は2021年8月1日、創立82周年を迎えました。  
これからも、ずっと、新たな一日を皆さまとともに。

八十二銀行

伝えるを 伝えるに

祝 紙齢50,000号

地域の皆さまとともに

過去の邂逅 × 未来への閃光

1960 1951

1951

1951

松本地域 1951年 - 昭和26年 -

城下町に40年間 走った路面電車

街を走るスピード感

松本商工会議所 松本上 報

花村産業株式会社

ノメゲメ

KISSEI COMET

キーンエイ商事株式会社

リズで未来を拓く

TADACHYA

松本の城

- 広告主 —— 長野県内を中心とした 224 企業・団体
- 掲載状況 —— 2021年9月19日/本紙全15段、全5段など計100段、雑報(マルチ)、別刷り(16ページ)、カラー
- 広告活動 —— 特設サイト、Twitter
- 企画 —— 信濃毎日新聞社広告局
- 制作 —— ビー・クス、ながのアド・ビューロ

● 企画の概要と選定理由  
紙齢5万号を迎えた節目に、創刊から148年間の長野県の歴史を最新のデジタル技術を活用して振り返る広告企画を展開した。朝刊本紙に掲載した協賛社の広告枠に配した二次元コードを通じて、その企業にまつわる象徴的な過去の記事や広告がスマートフォンに表示される工夫を凝らした。同日発行した別刷り特集では、過去のモノクロ写真を人工知能(AI)技術でカラー化し、現在の風景を並べて紹介。読者から多くの反響が寄せられ、SNSでも好意的な投稿が相次いだ。新聞社が保有するコンテンツを活用し、読者への感謝と地域と共に歩む地元紙の思いを表現した広告活動として高く評価された。

新聞広告賞

脳活新聞

西日本新聞社 メディアビジネス局

「人生100年時代」を生き抜くために、健康寿命の延伸と認知機能低下の早期発見を促す「脳活新聞」を始動します。

脳活新聞「プロトタイプ」をスタートさせ、読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

「人生100年時代」を生き抜くために、健康寿命の延伸と認知機能低下の早期発見を促す「脳活新聞」を始動します。

脳活新聞「プロトタイプ」をスタートさせ、読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

西日本新聞社、ADKマーケティング・ソリューションズ、QNet、脳活研究、NIKEI、福岡県、福岡市、久留米大学、くらんご、西日本新聞社

脳活新聞 健康寿命の延伸を目指す

認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

脳活新聞「プロトタイプ」をスタートさせ、読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

西日本新聞社、ADKマーケティング・ソリューションズ、QNet、脳活研究、NIKEI、福岡県、福岡市、久留米大学、くらんご、西日本新聞社

「もしかして？」と感じたら認知機能低下のチェックを

認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

脳活新聞「プロトタイプ」をスタートさせ、読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

西日本新聞社、ADKマーケティング・ソリューションズ、QNet、脳活研究、NIKEI、福岡県、福岡市、久留米大学、くらんご、西日本新聞社

サインを見逃さず認知機能低下の早期発見を

認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

脳活新聞「プロトタイプ」をスタートさせ、読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。読者の認知機能低下の早期発見を促すとともに、健康寿命の延伸を目指す。

西日本新聞社、ADKマーケティング・ソリューションズ、QNet、脳活研究、NIKEI、福岡県、福岡市、久留米大学、くらんご、西日本新聞社



- 広告主——森永乳業、QNetなど約50社
- 掲載状況——2021年9月20日、12月6日、2022年3月20日から31日、4月17日から30日、5月15日、5月22日から31日/全60段、全15段、雑報、タブロイド判別刷り(20ページ、16ページ)、カラー
- 広告活動——フリーペーパー、特設サイト、イベント
- 企画——西日本新聞社
- 制作——西日本新聞プロダクツ
- 扱い——西日本新聞広告社、電通、電通九州、博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂、九州博報堂、ADKマーケティング・ソリューションズ、三栄広告社、和広、広研、アプロ、読売連合広告社

●企画の概要と選定理由

「人生100年時代」の到来を見据え、日常生活を支障なく過ごせる期間「健康寿命」の延伸と認知症予防を目指すキャンペーンを開始した。本紙や別刷り特集に「脳トレ」問題を定期的に掲載し、専門家の科学的な解説で認知症予防への理解を促した。特設サイトでは「脳トレ問題」を毎日掲載し、回答数に応じてポイントがたまる仕組みや認知症チェック機能を導入したことで、月間78万ページビューを獲得する人気サイトとなった。紙面とウェブサイトとの連携や、関連イベントの開催による立体的な展開は、多くの広告主から賛同を得た。高齢化社会が進む中、誰もが抱え得る身近な問題に対し、新聞社の総合力を結集して取り組んだ広告企画として高く評価された。

※権利処理の都合上、画像を一部加工しています

G-05 お金計算

お金がいくらあるか数えよう

1問 10、10、50、100、100、50、1000、1000、1000、1000

2問 10、10

24日(G-04)の答え

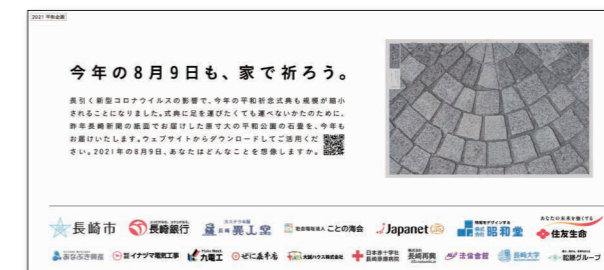
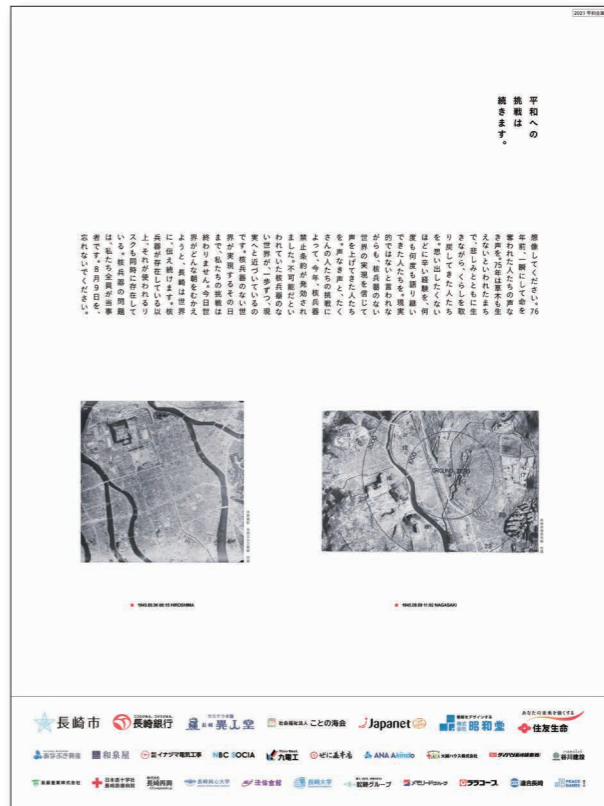
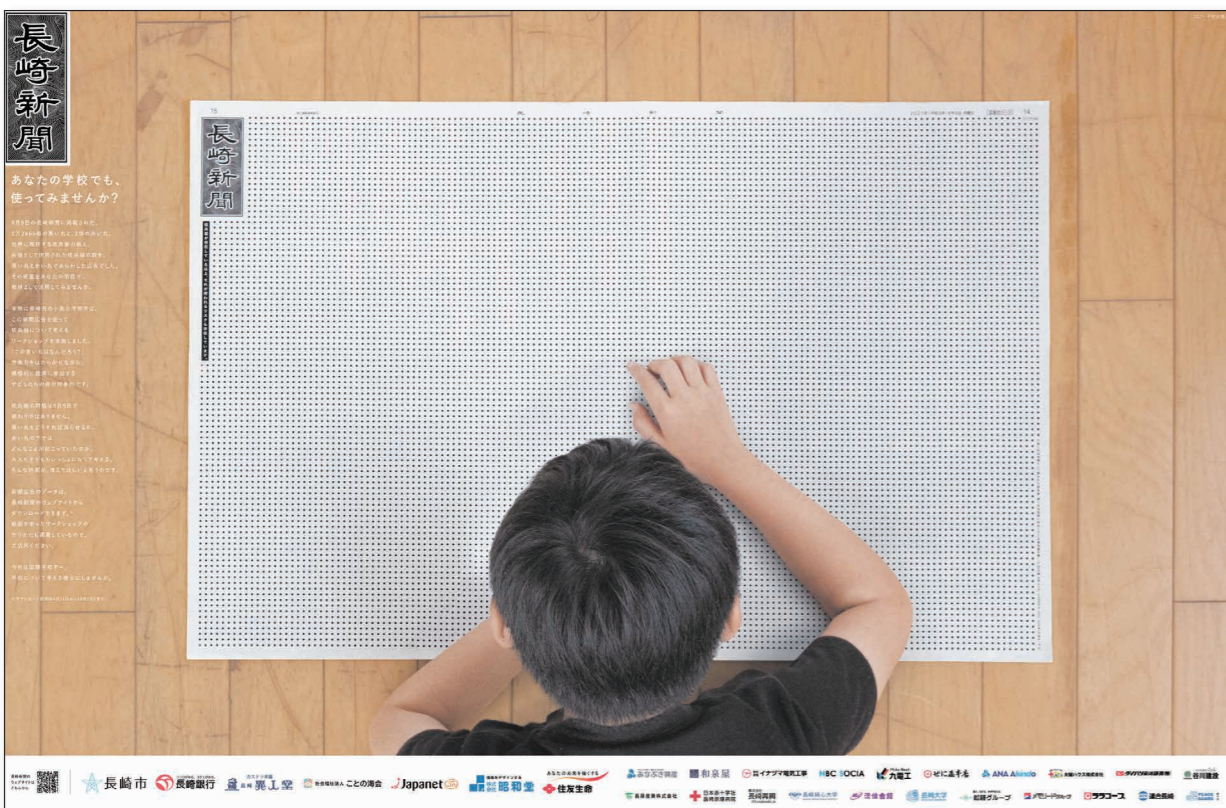
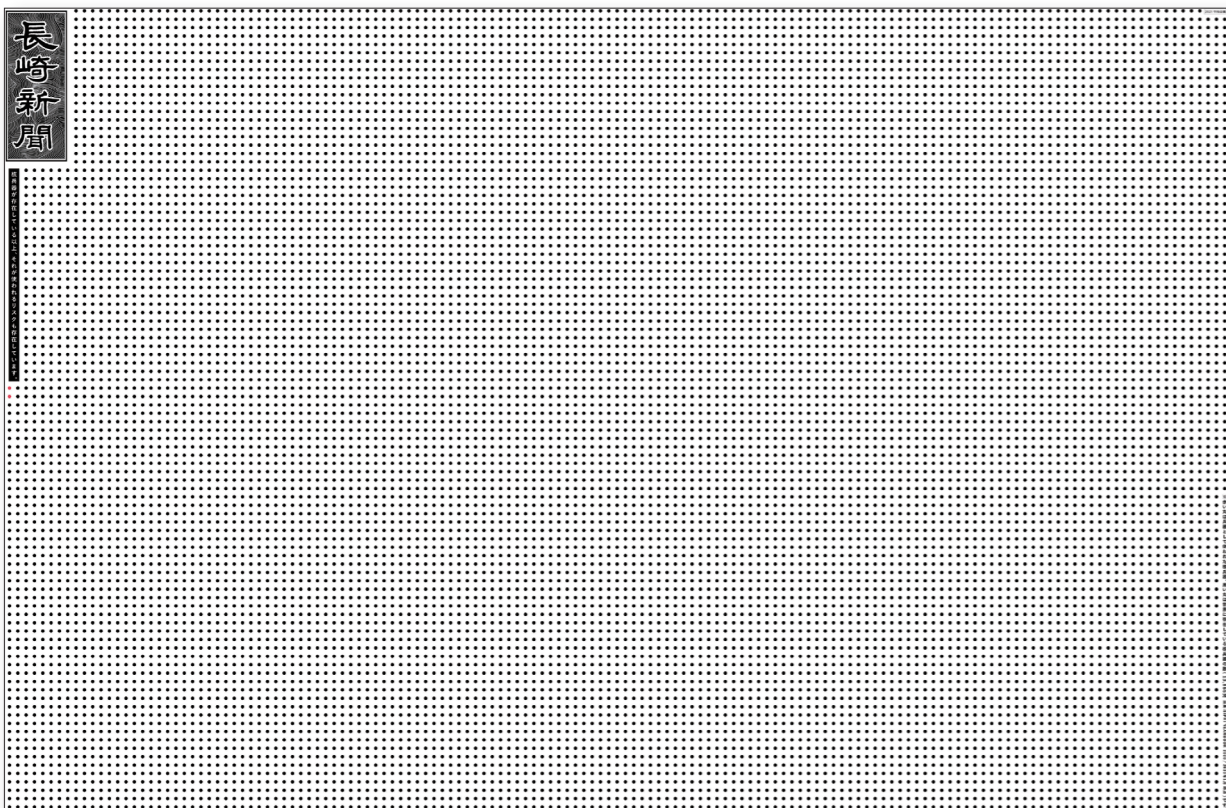
脳トレ

答えは翌日の朝刊または、脳活新聞サイトで!

タブロイド判

2021 平和企画

長崎新聞社 メディアビジネス局



- 広告主 —— 長崎市など 28 社
- 掲載状況 —— 2021 年 7 月 30 日から 8 月 9 日、9 月 21 日 / 二連版全 30 段、全 15 段、全 5 段、カラー
- 広告活動 —— 紙面を活用した平和学習用の「8 月 9 日グラフィック活用ガイド」を作成し、長崎市内の小学校で平和学習の授業を実施。長崎市内の全小学校にも教材として、同ガイドを配布。全国向けにはホームページにアップしダウンロードできるようにした。
- 企画・制作 —— 長崎新聞社、電通、電通九州長崎支社
- 扱い —— 複数

- 企画の概要と選定理由
- 2021 年 1 月の核兵器禁止条約発効を受け、同年 8 月 9 日時点で現存する核兵器の数 1 万 3865 個を黒い点、長崎・広島に投下された原爆を赤い点で示し、核の脅威を可視化する広告企画を展開した。被爆直後の両都市の航空写真を同日付紙面に掲載し、原爆の威力を図やグラフで分かりやすく表現することで、核兵器使用がもたらす惨事を読者が考える機会を提供した。見開きサイズの大きさを生かしたインパクトのあるビジュアルは、SNS で大きな話題となり、テレビの報道番組で取り上げられたほか、海外でも反響を呼んだ。原爆投下から 76 年が経過し、被爆体験の風化が懸念される中、長崎県内外の学校で平和学習の教材として活用されるなど、「平和の継承」に寄与した広告活動として高く評価された。